

茶運び人形

「茶運び人形」は、人形が持つ茶台の上に茶碗を乗せると客のところまで運び、茶碗を取ると停止し、再び茶碗を乗せるとUターンして戻るといった仕掛けの座敷からくりです。

ゼンマイを動力とし、ラチェットやテンプなど高度な技術を用いていますが、ここではUターン機構について解説します。

「茶運び人形」は三輪車のような構造で、ゼンマイと歯車で接続した左の後輪の回転により進みます。Uターンは前輪の向きを一定時間変えることで実現します。

ゼンマイ軸にひょうたん型カムが取り付けられていて、一定速度で回転します。このカムが所定の角度になると一定時間レバーを前方に押しします。レバーは管につながったハンドルを回転させるので、人形はUターンを行います。

